

③算数A

領 域	平均正答率		
	全国平均	県平均	放虎原小学校は
数と計算	約62%	約61%	全国平均を下回っている 57%
量と測定	約73%	約73%	全国平均をやや下回っている 70%
図形	約57%	約55%	全国平均をかなり下回っている 44%
数量関係	約60%	約57%	全国平均をかなり下回っている 51%

④算数B

領 域	平均正答率		
	全国平均	県平均	放虎原小学校は
数と計算	約58%	約57%	全国平均を下回っている 51%
量と測定	約52%	約50%	全国平均を下回っている 47%
図形	約60%	約58%	全国平均を上回っている 64%
数量関係	約45%	約44%	全国平均を下回っている 40%

⑤理科

領 域	平均正答率		
	全国平均	県平均	放虎原小学校は
物質	約60%	約61%	全国平均を下回っている 54%
エネルギー	約53%	約51%	全国平均とほぼ同じ 52%
生命	約74%	約74%	全国平均を上回っている 76%
地球	約50%	約49%	全国平均を下回っている 45%

(3) 生活と学習に関するアンケート調査の結果（課題と思われる内容を抜粋）

①生活

質問内容	全国平均	県平均	放虎原小
自分には良いところがあると思うか。	約41%	約41%	約36%
家で新聞をほとんど読まない。	約61%	約63%	約74%

②学習習慣

質問内容	全国平均	県平均	放虎原小
家で予習・復習をどちらかといえはしている。	約62%	約59%	約50%
家で教科書を使って学習している。	約38%	約33%	約27%

3 改善に向けての取組のようす ※以下は昨年度の内容です

(1) 国語

- 文章を書くことに慣れさせるために、書かせる機会を多くする。また、文章表現についての基礎的な学習内容の確実な定着を図るために、繰り返し練習する時間を設定する。読書に親しむ機会を増やすことで、伝えるべき内容を整理して考えたり、表現したりする力を育てる。

(2) 算数

- なぜそのような結果になるのか、根拠を明らかにしながら自分の考えをノートに書き、そのことを友達に説明する活動を授業で行う。（小グループでの話し合いの推進）3年生以上においてティームティーチング（複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導する）を通して、基礎的な学習内容の充実と定着を図る。応用力を高めるために、授業の中で問題を解決するための多様な方法をみつけさせ、解決することの楽しさを味わわせる機会を増やす。